

- 茨城県教育目標
- ・ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
 - ・じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
 - ・郷土を愛し 協力しあう心を育てる
- いばらき教育プラン「一人一人が輝く 教育立県を目指して」
～子どもたちの自主性・自立性を育もう～

○学校教育目標

知性に富み，心豊かで たくましく生きる生徒の育成

○鹿嶋市教育目標

- ・一人一人の能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- ・健康と安全の確保に努め 活力ある心を育てる
- ・郷土の理解を深め 郷土を愛する心を養う

○本年度の鹿嶋市教育推進の柱

1. 確かな学力の保証
2. 豊かな心の育成
3. 健やかな体の育成
4. 時代の要請に応える教育の推進
5. キャリア教育の推進
6. 郷土教育と国際教育の推進
7. 特別支援教育の充実
8. 保幼小・接続の推進

学校の特性

生徒の特性

地域の特性

保護者の願い

学校評価

組織目標

目指す
生徒像



スローガン
高めあう
助けあう
鍛えあう

重点施策

研修のキーワード
生徒の力を引き出す

数値目標

研究推進

高めあい 助けあい 鍛えあう生徒を育成する
— 学力向上 豊かな心 たくましい心と身体 —

目指す
教師像

- 1 使命感と情熱をもち組織的に課題解決に取り組む教師
- 2 愛情をもって、生徒を認め、ほめ・励まし・伸ばす教師
- 3 生徒一人一人の可能性を育む心温かい教師
- 4 常に向上心をもって研鑽を積む、保護者から信頼される教師

地域とともに
ある学校

- 1 学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力し合い、特色ある教育活動の充実に努める。
- 2 たよりや学校ホームページ・メール配信等を活用し、積極的な情報発信を行う。
- 3 生徒健全育成委員会を開催し、地域との連携・協力を推進する。
- 4 地域の学校間の相互連携と協働を図る
- 5 学校評価を生かし、学校運営の改善を図る。

特別支援教育

- 全職員の取組による一人一人の教育的ニーズに応じた教育の充実
- 通常学級担任と相談学級担任との連携

自ら考え，学ぶ生徒
《かしこく》



- 1 基礎的・基本的内容の定着を図るために、繰り返しや補充的な学習の充実に努める。
- 2 生徒の学ぶ意欲の向上を図るため、学ぶ楽しさや成就感、驚きや感動などが実感できる体験的な活動の充実に努める。
- 3 課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習を充実させた授業を推進する。
- 4 言語活動の充実に努め、相互に学びあう授業を工夫し、学ぶ楽しさを実感させる。
- 5 校内研修体制を見直し、より実効的な指導を図る。

豊かな心で，助け合う生徒
《やさしく》



- 1 道徳の時間を要とし、体験活動や実践活動を推進し、道徳的実践力を育む指導に努める。
- 2 よりよい生活と人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治的能力の育成及び道徳的実践の充実に努める。
- 3 生徒が主役となる教育活動を推進し、生徒会活動や学校行事等の活性化を図る。
- 4 幼小中連携を推進し、中1ギャップの解消に努める。
- 5 公民館等の行事へ積極的に参加し、地域との触れ合いを通して勤労・奉仕の精神の醸成に努める。

じょうぶな身体で，たえぬく生徒
《たくましく》



- 1 学校教育活動全体を通じた体育・スポーツ活動の充実と体力の向上を図るとともに、健康の保持増進のための実践力の育成を図る。
- 2 魅力ある運動部活動の運営及び生徒のスポーツニーズに応える指導体制の整備に努める。
- 3 生徒の心身の健康に関する指導に努め、健康管理に関する情報を積極的に提供する。
- 4 自他の生命尊重を基盤とした安全能力の育成を図るとともに、危険予測・危険回避能力向上のための指導の徹底を図る。
- 5 授業の中で走るメニューを工夫し、体力向上に対する生徒の自主性を育成する。

- 自主的な家庭学習の実施率 80%以上
- 生活アンケートで「学校が楽しい」 90%以上
- 自分から進んであいさつができる 90%以上
- 体力テストA+B=70%以上
- 読書冊数年間30冊以上の生徒 30%以上
- ボランティア活動参加意識が高い 80%以上
- 朝食の摂取率 90%以上
- 年間平均欠席率5%未満

研究テーマ『生徒の言語活動を高めるための指導の在り方』～より実効的な校内研修を通して～